

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第30回放送の概要 (2011年2月26日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 石川遼です。峰山真彩 (まい) ちゃんは8歳の元気な女の子。でも輸血をしなければ生きてこれなかった。峰山真彩です。献血してくれてありがとうございました。僕らも命の助けになれる。20歳の献血。Love in Action。日本赤十字社。

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」, 抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。今日は「神戸ルミナスホテル」様 (TEL:078-511-7700) のご協力を頂きました。

1. オープニング

最近驚かされることが多いです。1月27日新燃岳が52年ぶりに爆発的噴火が起こり今も継続している。宮崎県は去年は口蹄疫、今回は火山灰で農作物が駄目になり、また鳥インフルエンザも発生した。そして2月22日にはニュージーランドに地震が発生し、クライストチャーチの近くに同期の娘さん家族が住んでおり心配したが家族のもとに無事であるとの電話があった。仕事場は崩壊したビルのすぐそばでバイオリンの職人をしているが工房は駄目になったようだ。まだ多くの行方不明の方がおられるがその中に垂水区の看護師の方もおられ無事を祈っています。

2. ゲストコーナー: 本田啓之さん (36 陽会)、井手ます美さん (60 陽会)

本日のゲストは兵庫高校OB合唱団ユーカリプタスの本田啓之さんと井手ます美さんです。昨年11月23日の本田さんの傘寿コンサートでは素晴らしい歌を聞かせて頂きました。本田さんの同期である林五和夫さんと友藤秀雄さんには、すでに当番組にご出演頂いており、本田さんは3人目になります。本田さんは二中時代、友藤さんと一緒に軟式野球をされていました。

小さい時から母に音楽を習っていたので、音楽との出会いは「母の胎内かもしれない」と思っている。1週間前にNHK朝の連続ドラマ「てっぱん」を見ていて、主人公のあかりちゃんが実のお父さんからプレゼントされた「ひまわり」という曲を聴いて、「この曲は初めての聴いた曲ではないと思う。」というセリフがあった。僕も「庭の干草」「埴生の宿」などの曲を初めて聴いた時、以前に聞いたことがある曲だと感じたことを思い出し「てっぱん」のドラマの1シーンと重なる感覚を実感した。



母とオルガン

これからのお母さん方になられる若い方には、胎教に最もよいと言われるモーツァルトの音楽を聴いて、いい子供さんを育てていただきたいと思う。

僕の母は明治、大正時代に楽譜を手書きで残している。これは僕の宝ものであり、喜寿コンサートでは、この五線譜ノートを手に「庭の千草」をコンサートの最初に歌った。

二中時代の3年生の時に終戦を迎えたが、その年の初めはグラマン戦闘機が制空権をもっており、神戸の空を飛びまわっていた。下校時、会下山で2回もグラマンに狙われたことがありとても怖かった。平野の自宅へ帰るとすぐに「埴生の宿」「庭の千草」などの曲を聴いてホッとしていたのだが、それらのレコードのルーツはイギリスだという理由で特高警察に没収されかけた。しかし、母の形見であるからと、涙を流して訴えたため没収を免れた。その後レコードを聴く時は、押し入れに入り音量を絞って聴いていた。幼少の頃からオルガンと楽譜に親しんできたが、音楽を正式に習ったのは旧制中学4年だった。声変わりした時、上野音大（現東京芸術大学）を卒業された先生が、たまたまご近所にいらしたので教えてもらうことができた。

井手さんは大阪音楽大学声楽科卒業後、32年間神戸市公立中学校の教師として務めてきたが、2年前に早期退職し、今は自由人としていろいろな活動をしている。ユーカリプタス合唱団には3年前から参加されたようで、そこで知り合うこととなった。



傘寿コンサート

昨年11月23日の「傘寿コンサート」については10月に一時声が出なくなり、延期も考えたが、延期すると実施する機会はないと思い、コンディションは十分ではなかったが、実施に踏み切った。クラシック以外のジャンルの曲もあったので、救われる部分もあり、20曲余りを歌い、無事コンサートを終えることができた。井手さんにはコンサートの司会と女声二重唱をお願いしたが、ギターアンサンブル、独唱、ピアノ伴奏も、すべて兵庫高校の後輩のみなさんをお願いした。

3年前の「喜寿コンサート」は、ただ歌うだけのコンサートであったが、今回の「傘寿コンサート」は司会のトークが入ることで客席と一体感が生まれ、ホームコンサートのような暖かいものとなった。友情出演してくださった後輩の皆さんのおかげで、バラエティーに富んだプログラムになり、聴きにきて頂いた方にも楽しんで頂けた。

ユーカリプタスの活動は1965年から5回の演奏会を開いてきたが、1971年を最後に活動を停止した。その後兵庫高校では吹奏楽部や管弦楽部の活躍が全盛期になる。ユーカリプタスは2008年の兵庫高校創立100周年の芸術祭に85名で出演したことがきっかけで復活した。僕が新制高校3年に編入した時に音楽部を創部したいきさつもあり、何とか復活したいとの思いが実を結び、素晴らしい合唱団が出来上がった。

今年3月6日14時からハーバーホールで55名による40年ぶりの「合唱団ユーカリプタス」の演奏会（第6回定期演奏会）を開催する。二人の指揮者に恵まれ、サトウハチロー作詞の「お母さん」、ルネサンス時代の曲、佐藤眞の組曲「蔵王」、三線の伴奏で沖縄の「島唄」など、趣向を凝らした演出で25曲を歌うことになっている。

神戸税関に勤め始めて以降、メイルカルテット（男声四重唱）や、他のコーラス活動を続けてきた。コーラスを最初に始めたのは7歳の時だった。教会の聖歌隊でボーイソプラノとして歌った。旧制中学4年生の時、声変わりを機に正式に声楽を習い始めたと同時に、学校で男声合唱団を立ち上げ、文化祭などで披露した。軍歌しか教えてくれなかった先生をギャフンと言わせ、溜飲を下げた。

プロのカルテットと言えばダークダックスとデュークエイセスの2組のカルテットしかなかった1960年頃、朝日放送の「コーラス大学」に出演したが、残念ながら全国3位に終わった。第3のプロカルテ

ットを目指していたが、優勝できなかったので断念した。

ここで本田さんの歌声（椰子の実）を聴く。

ハンガリーのプロコーラスグループとの共演については、ユーカリプタスのメンバーの中にいらっしゃる日本ハンガリー友好協会のメンバーの方の橋渡しで実現した。一昨年「プロムジカ」という女性コーラス（38名）が来日した際、共演させてもらった。また「バンキエーリ」という6人のミックスアンサンブルのステージにも賛助（友情）出演をした。今年も7月9日に松方ホールでプロムジカとの共演が決定している。他の合唱団の多くは女性が多いのだが、ユーカリプタスは熱心な男性が非常に多く、重厚な響きを持つ合唱団として活動している。

（注：今年1月の盲導犬チャリティーコンクールでは2位受賞という快挙もあった。）

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

以前ゲスト出演頂いた津村美姫さんのサクソフォンカルテット演奏会が3月2日大阪フェニックスホールで19時から開催されます。また61陽会の玉田さかえさんのシャンソンリサイタルが芦屋のラポルテホールで3月21日（月）18時30分から開催されます。

3月19日世界最大級といわれる三国志ジオラマが出来上がります。3月27日にはコテリンピックというお好み焼きのコテを使って卓球したり運んだりするイベントが開催されるので個人、チームで出演していただき新長田を盛り上げましょう。

4. 来週のゲスト

来週のゲストは兵庫高校初めての女性ラグーマンである牧野円さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com